

流通・小売業とGAP トークセッション

コーディネータ

■ 堅田義秋（日本GAP協会 技術委員会 顧問）

- 青果物流通研究会 顧問 / 元・新潟中央青果常務取締役

パネラー

■ 恵本芳尚（日本GAP協会 理事）

- 株式会社イトーヨーカ堂 青果部 シニアマーチャンダイザー

■ 田村浩至（日本GAP協会 技術委員）

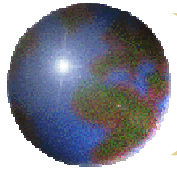
- 株式会社ダイエー 品質管理センター チーフテクノロジスト

■ 野崎博延（日本GAP協会 理事）

- 株式会社シジシージャパン 生鮮日配事業部長

■ 藤井滋生（日本GAP協会 理事）

- イオン株式会社 生鮮・デリカ改革チームリーダー

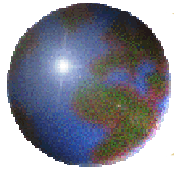


流通・小売業とGAP トークセッション

論点

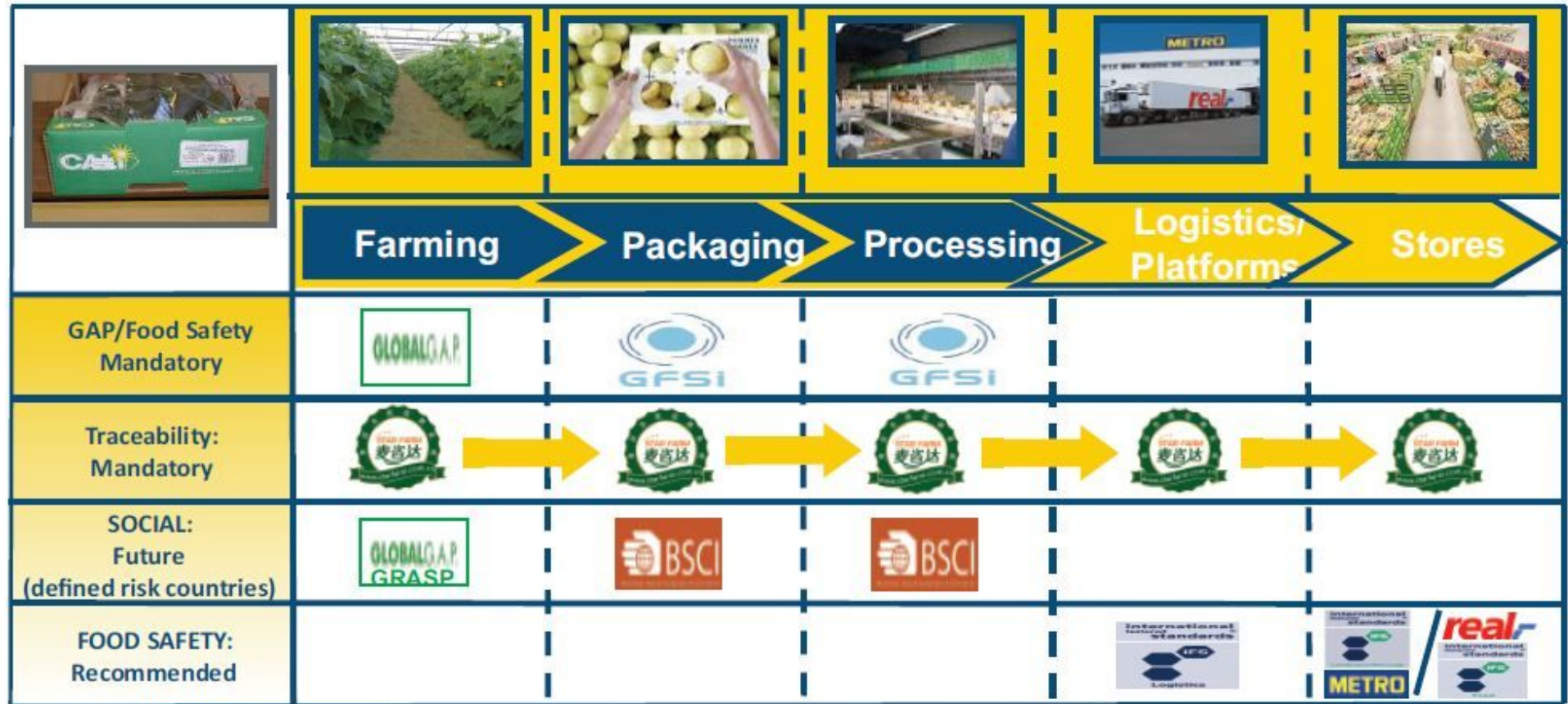
- 欧州ではGLOBALGAP認証を取引基準にしている流通・小売業も多い。

日本では今後どうなるのだろうか。



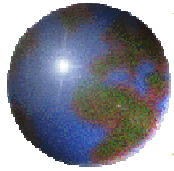
ドイツ・メトロ社 青果物の調達の基準

METRO Group Fruit & Veggies Supply Chain Approach.



農場はGLOBALGAP、選果場はGFSI
物流センターと店舗はIFS

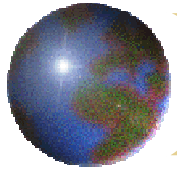
2010年 GLOBALGAP世界大会 発表資料
ホームページ公開用より抜粋



香港 小売業 Wellcomeグループ



- 香港2大小売業の一つ
- 野菜はGAP認証が取引基準



流通・小売業とGAP トークセッション

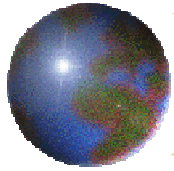
論点

- JGAPには、JGAP認証農場マークがあり、消費者に表示できる。

欧州ではGLOBALGAPを知っている消費者は皆無。表示制度も無い。

消費者にもGAPを知ってもらう必要があるだろうか。





JGAPマーク(2010年7月1日 利用開始)



登録番号 123456789



登録番号 123456789

- ❖ JGAP認証を取得した農場・生産団体が使用するマーク(上)と、原料として農産物を仕入れた加工業者が使うマーク(下)があります。
- ❖ JGAP マークは、その農産物を生産した農場・団体が導入している経営管理の手法を伝えるものです。
- ❖ JGAPマークは、農場名または農産物ブランドより小さく表示しなければいけません。



- ALDIはドイツを中心に、世界17カ国に9,000店舗を持つスーパーチェーン(ボックスストアという業態)
- 欧州で最も勢いのあるスーパーの一つ
- ドイツ国内の店では、青果売場の商品は全てGLOBALGAP認証であり、全商品でGGN(Global Gap Number)を表記
- GGNは認証を得た農場ごとに持つ番号



Erdbeeren

Füllgewicht: 500g

Ursprung: Deutschland

GGN: 4049928193551

Klasse: I

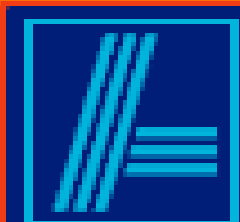
QS-ID: 4048473545266

Rahdener Spargel & Beerenfrüchte GmbH

Nuttelner Strasse 50, 32369 Rahden

L: 01 27





ALDI

BIO
BIO-BANANEN
Ursprung: Peru
GGN: 4050373086762
L 07/26 10:33
Grundpreis 1,49 €
Gewicht 0,738 kg
Betrag 1,10 €
UNIVERO
2 742190 001109

Bananen
Ursprung: Costa Rica
Grundpreis 0,89 €
Gewicht 0,788 kg
Betrag 0,70 €
L 06/27 11:33
GGN: 405037318568
Haupt-Distributeur: Dierke
9-26-10 Bremen
2 717177 000709



Bananen

Ursprung: Costa Rica



Grundpreis

0,89 $\frac{\text{€}}{\text{kg}}$

Gewicht

0,788 kg

Betrag

0,70€

L 01/27 11:33

5/16

GGN:4050373316969

Univeg Deutschland GmbH
D-28195 Bremen



2 717177 000709



bio



6/16

BIO-BANANEN

Ursprung: **Peru**

GGN:4050373096762

L 07/26 10:33

Grundpreis

1,49 $\frac{\text{€}}{\text{kg}}$

Gewicht

0,738 kg

Betrag

1,10€



2 742790 001109

UNIVEG
DEUTSCHLAND
D-28195 Bremen

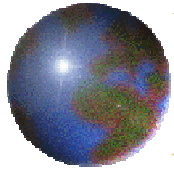


DE-001-Öko-Kontrollstelle



食肉ではQSマークも一般的
飼料・農家から加工・小売まで基準あり
小売大手レーベでは青果物にも表示
が多い





アジアのGAP



GAP一级认证标志

ChinaGAP



認証農場数
2,000以上

ChinaGAPもGLOBALGAPと
同等性認証を確立
2009年2月24日



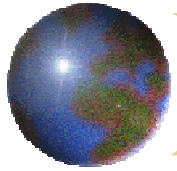
ThaiGAP

認証農場数
30万以上

우수농산물 인증 표시사항			
 우수농산물인증 인증기관: 신세계 이마트 인증번호: 015-1617-0001		이 상품은 농산물 품질관리법에 의한 우수농산물인증품 입니다.	
구 분	기 재 내 용		
원산지(시도,시군구)	경북 고령		
품목(품종)	딸기	GMO	부
중량,개수	750g	등	
생 산 자 (작목반명)	성 명		
	주 소	경북	
우수농산물 관리시설	시설명	주 소	
	주 소	경북 고령군 고령읍 본관리 671-1 (054-955-9351)	
이력추적관리번호		01768-0890336	

認証農場数
16,000以上

KoreaGAP



流通・小売業とGAP トークセッション

論点

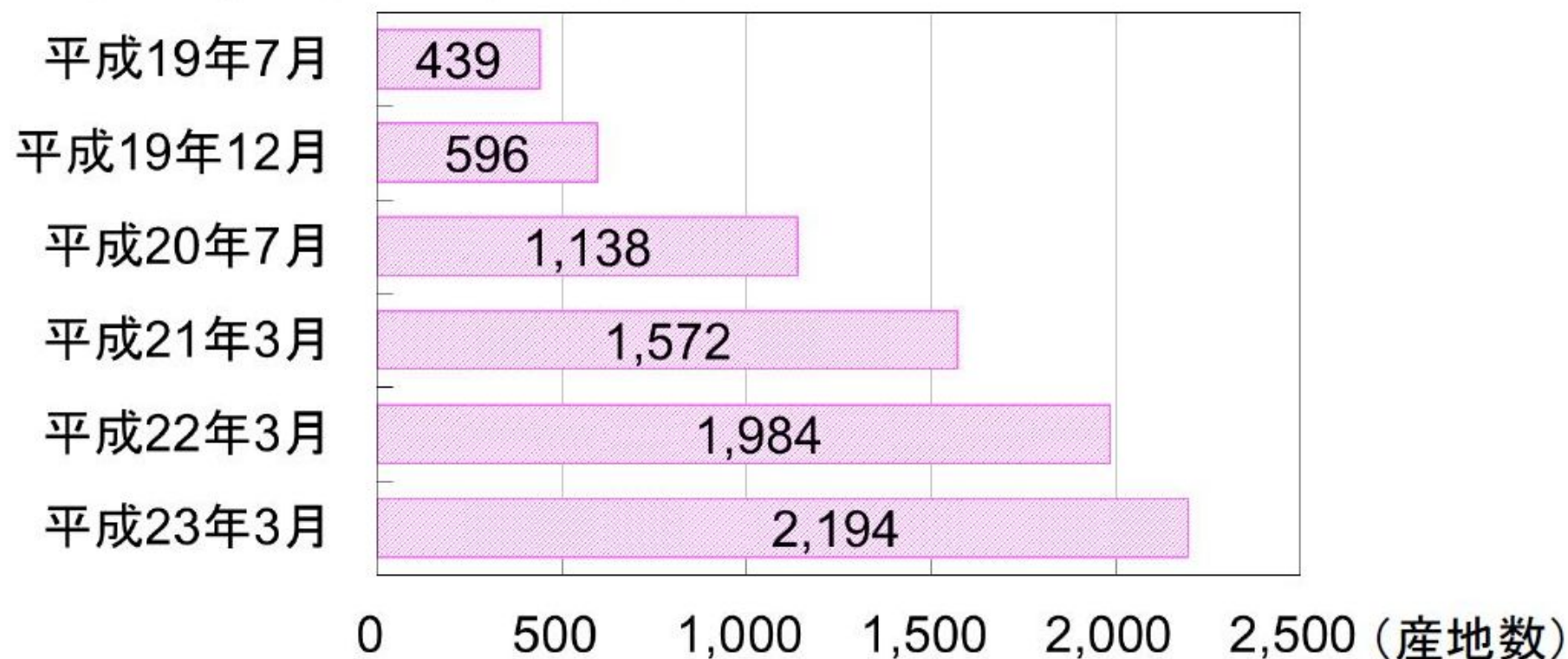
- 日本は認証制度の無いGAPが乱立している世界でも稀な状態。
 - GAPの基準内容もバラバラ。
 - 基準を配布するだけで、実践できているか確認されていない。
 - 「GAPやってます＝信頼できる農場（産地）」の構図が成り立たなくなる危険性

日本のGAPはどこへ向かうのか？

農業生産工程管理（GAP）の取組状況

1 産地での導入状況

① 導入産地数の推移

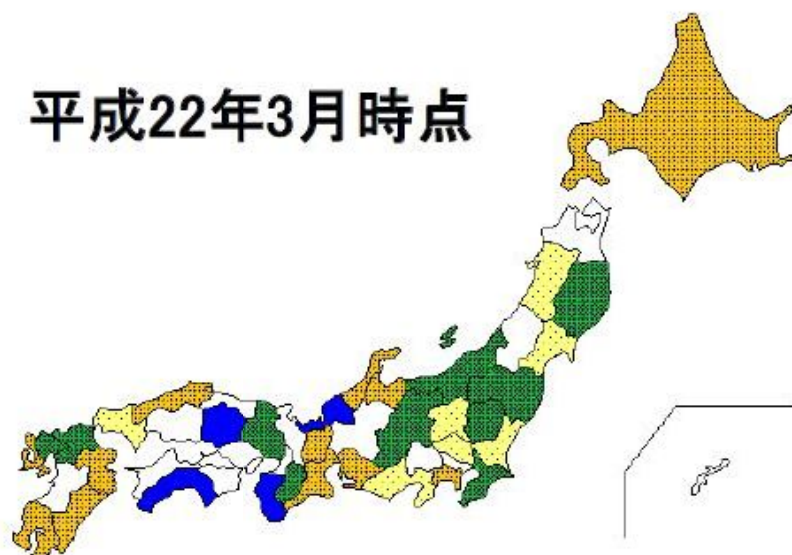


農林水産省調べ(平成23年3月末現在)

調査対象は野菜、米、麦、果樹、大豆の産地強化計画等を作成している産地等。平成23年3月の結果は福島県を除く。

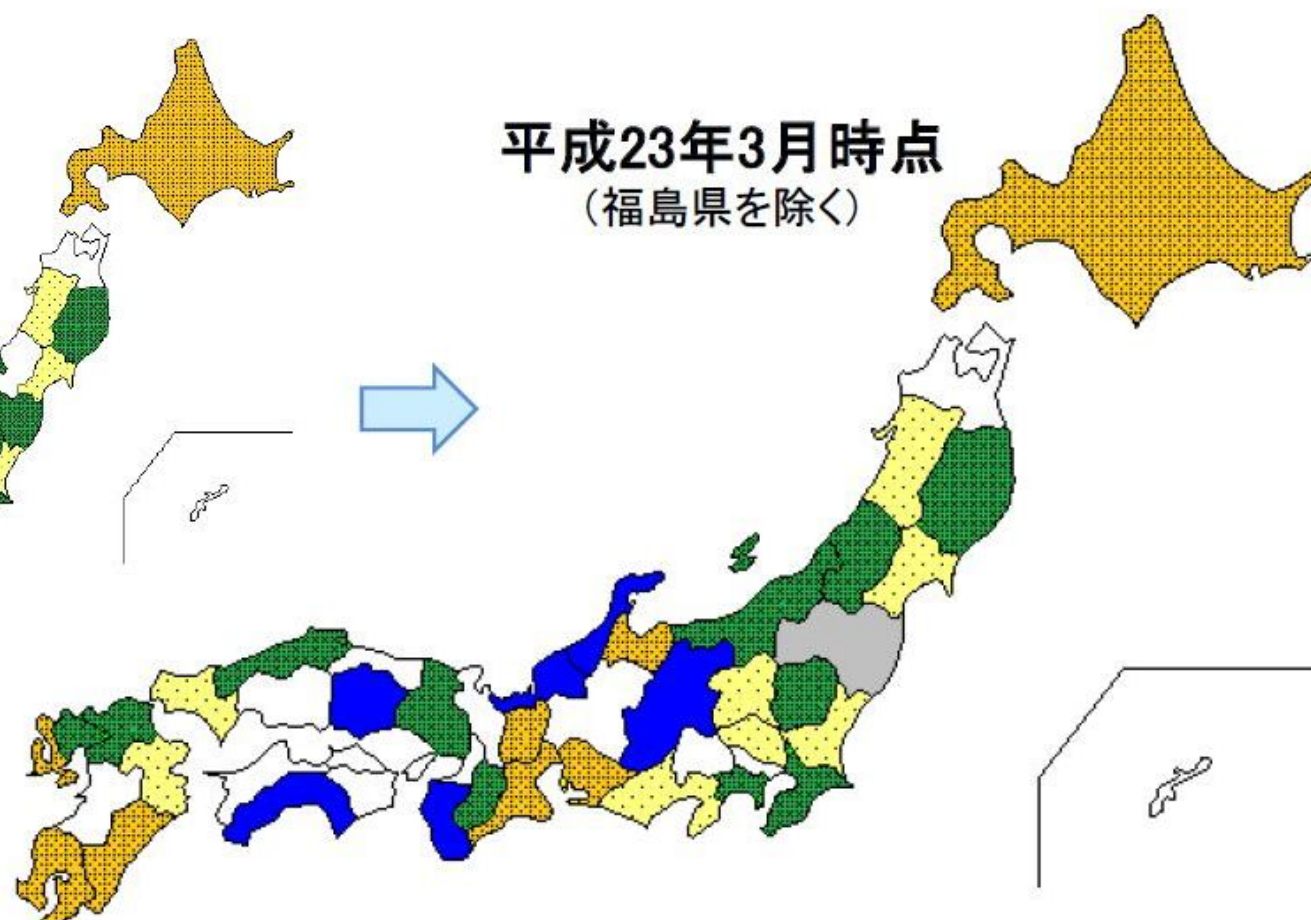
③ 都道府県におけるGAPの導入状況

平成22年3月時点

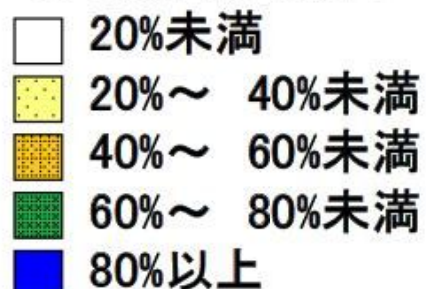


平成23年3月時点

(福島県を除く)



【凡例】導入割合 ※



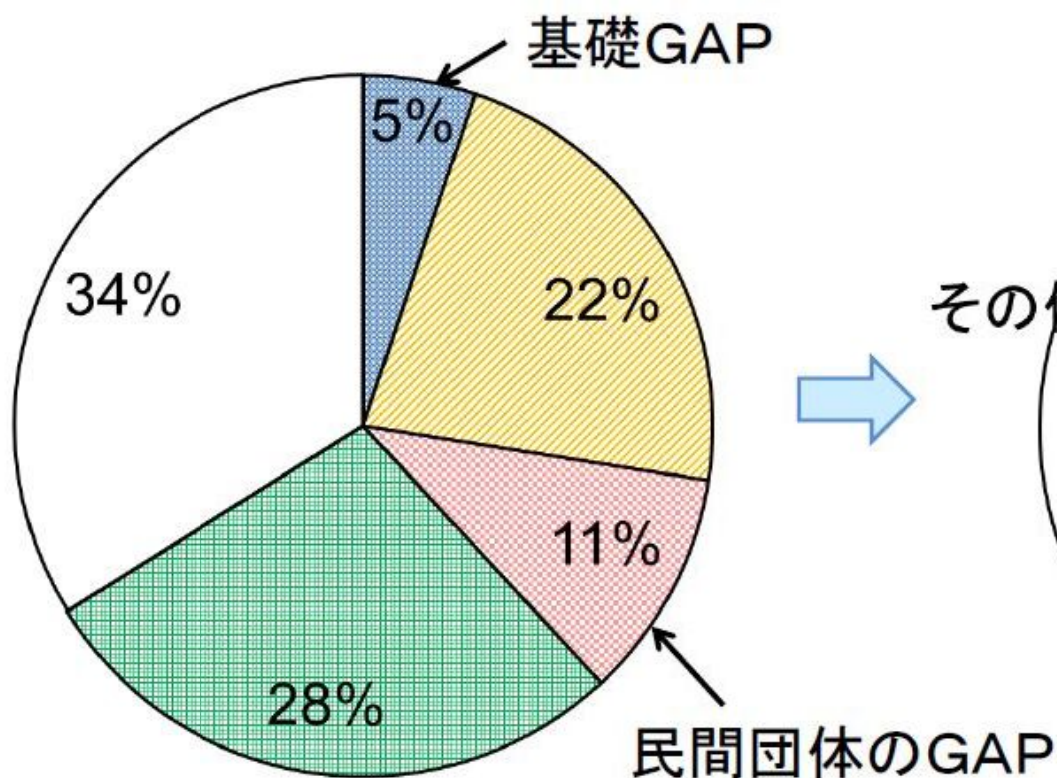
※調査対象産地数のうち
GAPを導入済みの産地の割合

農林水産省調べ(平成23年3月末現在)

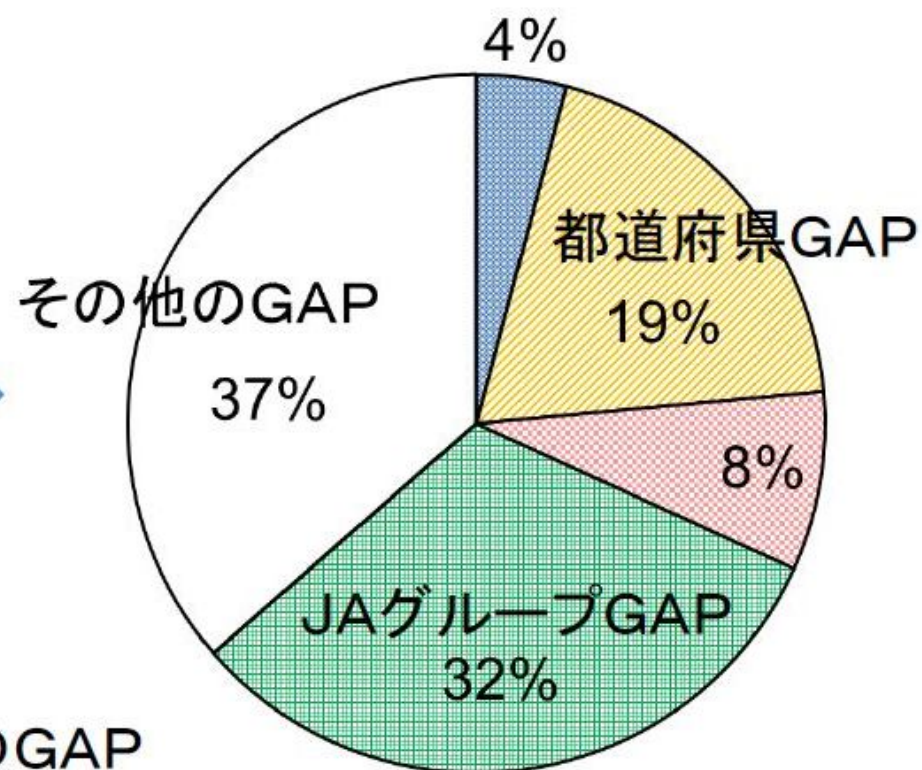
農水省 資料

④ 内訳(GAPの種類別)

平成22年3月時点



平成23年3月時点
(福島県を除く)



農林水産省調べ(平成23年3月末現在)

農水省 資料

産地及び都道府県の点検・認証の状況

- GAPの導入産地における点検方法については、「自己点検のみ」が導入産地の51%を占め最も多く、次いで、産地の責任者等による「内部監査」(37%)、「取引先による点検」(10%)、「第3者による点検」(8%)。
- また、独自にGAPを策定している30都道府県のうち、3県で認証の仕組み。

○GAP導入産地における点検状況

全体の産地数(※1)						
	うちGAP導入産地数	点検方法別の内訳(※2)				
		自己点検のみ	内部監査	2者点検	3者点検	その他(※3)
4,479	1,572 (100%)	800 (51%)	588 (37%)	153 (10%)	126 (8%)	122 (8%)

・ 農林水産省生産局技術普及課調べ(平成21年3月末時点)

※1 産地数は産地強化計画等を作成している産地の数

※2 点検方法のうち内部監査、2者点検、3者点検の実施産地には、重複も含む。

※3 その他は、調査時点で点検方法を定めていない産地の数

○都道府県におけるGAPの認証の状況

GAPを独自に定めている30都道府県のうち次の3県で認証を実施

県名	認証制度の名称	創設年度	対象農産物(※)	認証機関	認証の状況
静岡県	しずおか農水産物認証制度	平成18年度	農産物全般	静岡県	21団体・個人 (平成21年12月時点)
島根県	安全でおいしい島根の 県産品認証制度	平成20年度	農産物全般	島根県	10団体・個人 (平成21年12月時点)
鹿児島県	かごしまの農林水産物 認証制度	平成16年度	米、野菜、果樹、茶	(社)鹿児島県農業・ 農村振興協会	81団体・個人 (平成21年10月時点)

・ 農林水産省生産局技術普及課調べ(平成22年1月)

※ 上記の3県では、農産物以外の品目(畜産物、林産物又は水産物)についても認証を実施



3 都道府県版GAPにおけるガイドライン^(※1)の活用状況

	都道府県数
ガイドラインに則した都道府県版GAP策定済み ^(※2)	10
ガイドラインに則した都道府県版GAP策定検討中	14
うち23年度中	10
ガイドラインに則したGAP策定予定なし	20
うち都道府県版GAPあり	6
うち都道府県版GAPなし	14
未定	2
計(福島県を除く)	46

(※1) 農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン。

(※2) 1品目以上でガイドラインに則した都道府県版GAPを策定している
場合に計上。 農林水産省調べ(平成23年3月末現在)